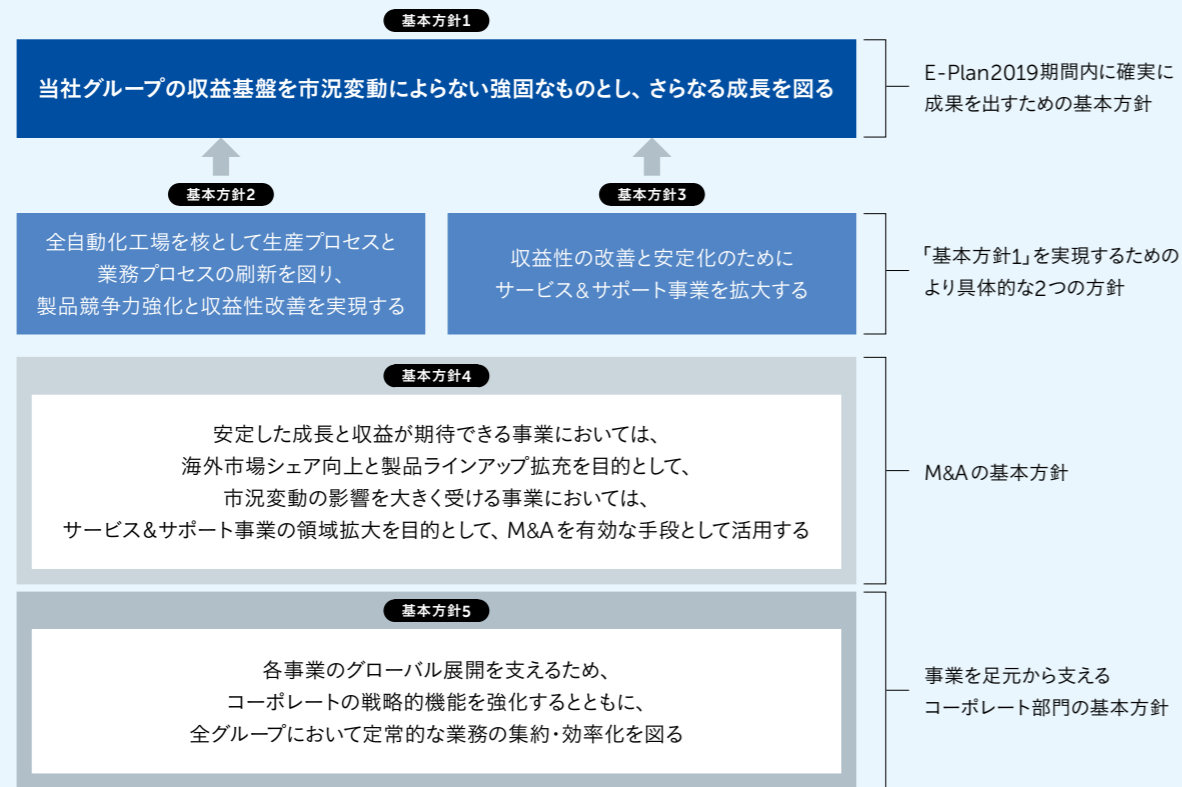


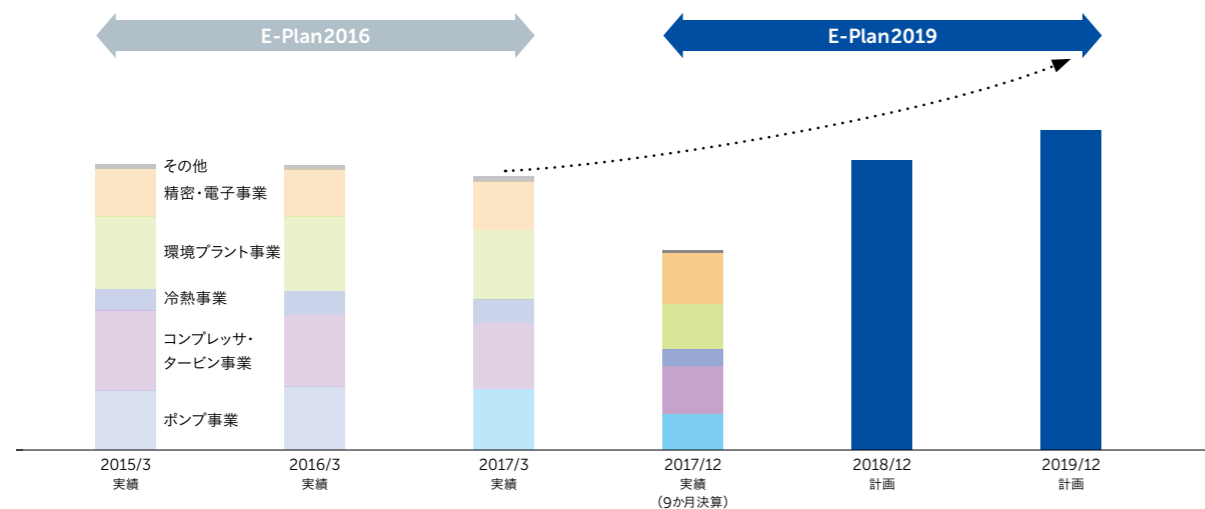
E-Plan2019では「利益」を重視し、全ての事業で収益性をさらに向上させていくことを目標としています。中でも荏原グループの創業からの事業であり、売上規模が最大のポンプ事業の利益率向上がE-Plan2019で最も注力すべきテーマとなります。
 参照 E-Plan2019 : <https://www.ebara.co.jp/about/ir/information/management/index.html>

グループ基本方針の構造

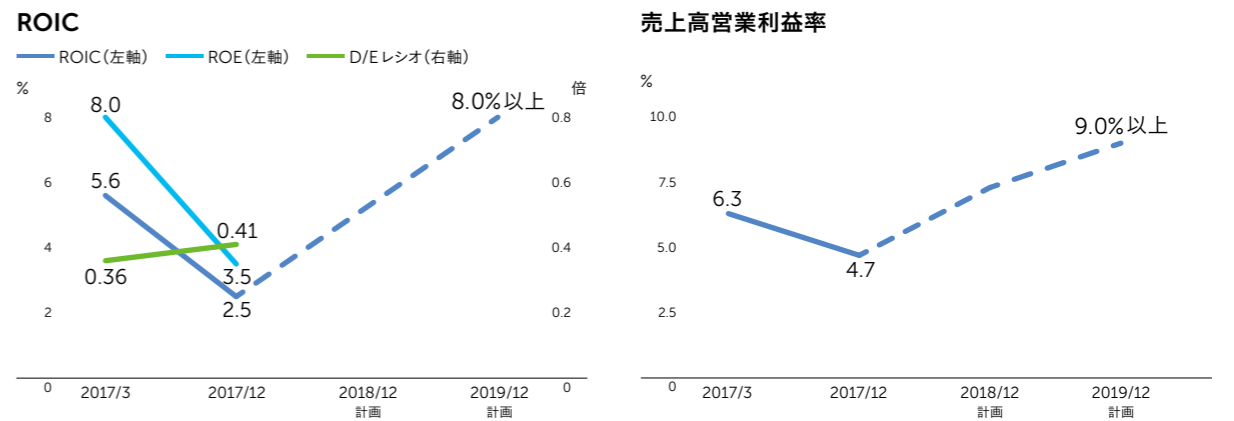
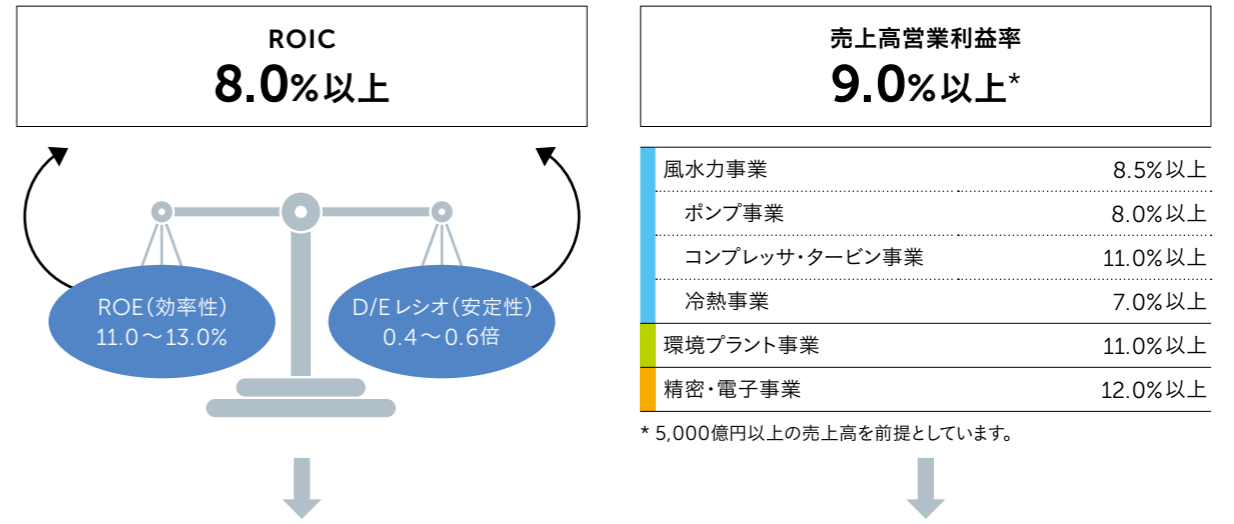


基本方針3 主要事業別のS&S売上高の推移

1年目の目標は達成。9か月決算の影響により売上高水準は減少したが、2017年12月期はほぼ計画通りに推移



基本方針1 収益基盤の強化



初年度の総括

施策は順調に進捗し全社の売上高営業利益率は計画を上回ったが、課題もある

- 課題**
- カスタムポンプ事業、コンプレッサ・タービン事業で営業利益率が伸び悩み、ROICにも影響
 - 施策の進捗：計画通り（効果が表れるのは2年目以降）
 - エネルギー関連市場の回復：中期経営計画策定時の見通しよりも遅れている
 自助努力によるカバーが必要

2年目以降に向けて

ROIC 8.0%以上の目標達成に向け、「資本効率」をより重視しながら引き続き収益性の拡大に取り組む

- ROICの向上**
- 売上高営業利益率の改善**
 - 各事業の最新の状況に応じた施策の投入（海外事業の再構築、組織の最適化など）
 - 施策の確実な実施と深化
 - 資本回転率の向上**
 - 売上債権回転日数の短縮（カスタムポンプ事業、コンプレッサ・タービン事業、精密・電子事業）
 - 棚卸資産回転日数の短縮（標準ポンプ事業、精密・電子事業）
 - 適切なバランスシート管理（財務レバレッジの適切なコントロール）